

社会资本総合整備計画 事後評価書

令和7年9月 日

計画の名称	山形県における港湾の機能強化と老朽化対策																
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）				交付対象		山形県										
計画の目標	酒田港をはじめとする県内港湾は、国内輸送や対岸貿易などの物流の拠点となっているほか、古くから文化や人々の交流の場となっており、周辺には歴史的な施設も多く存在している。その中で、建設後50年以上経過する港湾施設が倍増するなど、老朽化対策の対応が必要である。																
既存施設の老朽化対策を進めるとともに、防波堤改良、ふ頭内の保安対策強化などを確実に実施し、港湾全体の安全性を向上させる。																	
計画の成果目標（定量的指標）																	
<ul style="list-style-type: none"> 老朽化などにより使用制限のある施設、もしくは破損等により安全面からも改良が必要な施設の整備率を100%にする。 埋没した水域施設の浚渫を完了させる。 酒田港本港地区の航行安全を図るための、防波堤改良を100%にする。 																	
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値					備考					
							当初現況値 (R1 当初)	中间目標値 (R4 末)	最終目標値 (R6 末)								
<ul style="list-style-type: none"> 老朽化などにより改良の必要な施設を集計する。 (施設改良率) = (改良完了施設) / (要改良施設：6施設) 埋没し浚渫が必要な水域施設を集計する。 (浚渫完了率) = (浚渫実施完了水域) / (埋没水域：5施設) 防波堤改良達成率を工事施工延長から算出する。 (防波堤改良達成率) = (改良工事完了延長) / (計画施工延長：5.8m) 							0%	50%	100%								
全体事業費 (A+B+C+D)							0百万円	0百万円	0百万円								
事後評価（中間評価）																	
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制				事後評価の実施時期													
				整備計画期間の翌年度													
第三者委員会である「山形県公共事業評価監視委員会」から意見を聴取し評価を行う				公表の方法													
								ホームページによる公表									
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											R2	R3	R4	R5	R6		
A02-001	港湾	一般	山形県	直接	山形県	改良	-	防波堤（南）改良	防波堤改良 L=58m	酒田市	■					35	
A02-002	港湾	一般	山形県	直接	山形県	改良	-	SOLASふ頭改良	SOLAS監視装置改良	酒田市	■	■	■	■		60	
A02-003	港湾	一般	山形県	直接	山形県	改良	-	石油基地航路護岸改良	被覆防食 L=285m	酒田市	■	■				125	
A02-004	港湾	一般	山形県	直接	山形県	改良	-	宮海第5号岸壁改良	被覆防食 L=150m	酒田市	■	■	■			42	
A02-005	港湾	一般	山形県	直接	山形県	改良	-	岸壁改良	防舷材 L=193m コーナー材 L=193m	鶴岡市	■					19	
A02-006	港湾	一般	山形県	直接	山形県	改良	-	宮海線道路改良	切削オーバーレイ A=7,350m ²	酒田市	■	■	■	■		30	
A02-007	港湾	一般	山形県	直接	山形県	改良	-	大浜宮海線補修	路上路盤再生 A=4,600m ²	酒田市	■	■	■	■	■	33	
A02-008	港湾	一般	山形県	直接	山形県	改良	-	浜町泊地	浚渫 V=15,000m ³	鶴岡市	■	■	■	■	■	66	
A02-009	港湾	一般	山形県	直接	山形県	改良	-	航路	浚渫 V=135,000m ³	鶴岡市	■	■	■	■	■	144	
A02-010	港湾	一般	山形県	直接	山形県	改良	-	加茂泊地浚渫	浚渫 V=14,000m ³	鶴岡市	■					51	
A02-011	港湾	一般	山形県	直接	山形県	改良	-	新井田川河口 (-3.0m) 泊地浚渫	浚渫 V=8,000m ³	酒田市	■	■	■	■		25	
A02-012	港湾	一般	山形県	直接	山形県	改良	-	新井田川河口 (-4.0m) 泊地浚渫	浚渫 V=4,000m ³	酒田市	■	■	■	■		12	
												合計	642				
B 関連社会资本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										R2	R3	R4	R5	R6			
番号 一体的に実施することにより期待される効果												備考					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										R2	R3	R4	R5	R6			
番号 一体的に実施することにより期待される効果												備考					
その他関連する事業																	
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										R2	R3	R4	R5	R6			
												合計					
												A' 百万円 B' C' (C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))					

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況		老朽化が進んだ港湾施設及び埋没した水域施設について、補修工事が進捗し、安全性が向上した。 防波堤の改良工事が完了し、酒田港本港地区の航行安全が図られた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画期間の途中から補助事業に移行したことにより、予算が確保できなかった。
		最終実績値	50%		
	指標②	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画期間の途中から他の交付金事業や単独事業に移行したことにより、予算が確保できなかった。
		最終実績値	60%		
	指標③	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		

3. 特記事項（今後の方針等）

残箇所は、補助事業にて継続して対策工事を実施する。
老朽化対策については、引き続き計画的に進め、港湾施設の安全性の確保に努めていきたい。